

# 広報



# とうかい

昭和 55 年

毎月 1 日

発行

NO.243



春のおとずれ間近か！

(伊藤忠義氏より)

# 3月号

## 人口と世帯

2月1日現在

( )内は前年比

人 口 6,437人(-113)  
男 3,082人(-50)  
女 3,355人(-63)  
世帯数 1,803戸(-16)

(住民基本台帳+外国人登録)

## 春の花

いよいよ春です。桜前線の北上も間近で、寒かつた冬の季節ともお別れです。

モモ、フクジユソウ、コブシの白い花やレンギョウなど各種の花も三月から咲きはじめます。花屋さんの店先には、チューリップ、フリー ジア、カーネーションなど一年中、温室育ちの草花が幅をきかせ、すっかり季節感がなくなつてしましました。

しかし、野や山、川べりなどでは自然の草花が、春の訪れを知つて、土の中から頭をもたげ、やがてかわいらしい花を咲かせます。

こうした野の花は、温室育ちの花々とは違つた趣を与えます。  
日曜日などは、家族揃つてのピクニックなどを計画したらいかがでしょう。

## とうえい

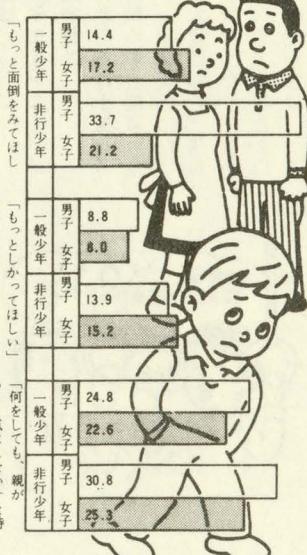
## ● 目で見る“こども白書”

**親との触れ合い**

**親の関心に不満も**

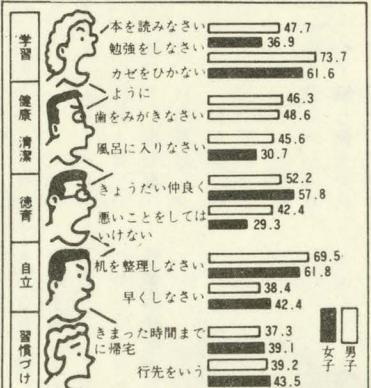
小学生では、親がもっと自分に関心を持つて欲しいとする者は少ないと、中学生になると、男女とも親の関心の薄さを感じる者の割合が二〇%を超えて、かなり多くなる。

親の自分の関心に対する欲求（小学5・6年生）単位%



## 家庭

しつけに関することでよく注意されること（小学5・6年生）単位%



## しつけ

## 六割以上がしかられて身にしみた

庭や社会のきまりを身につけていく。親からのしつけや注意は、女子より男子の方がよく受けており、また、六・七割が親にしかられて「身にしみた」と率直に反省している。

子供は、親のしつけによつて、家

## 楽しいとき

## 男女とも「テレビ」と「友人」

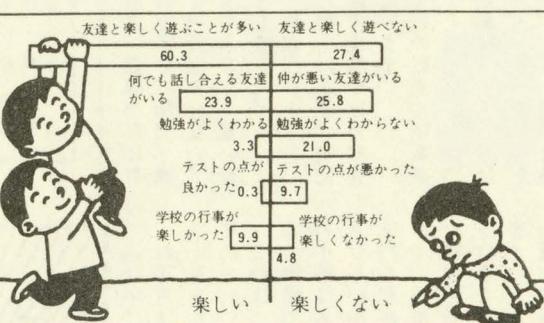
## 遊びと消費

子供の楽しいとき（小学5・6年生）



## 学校生活

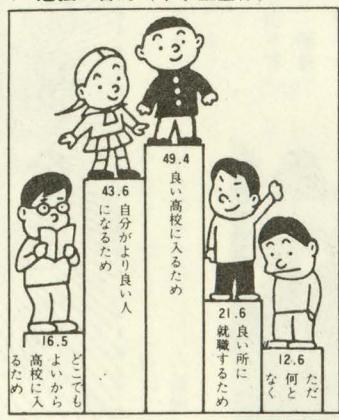
## 楽しさは友人関係に



高学年になるにつれて「自分がより良い人になるため」が減り、半面、当面の進学・受験を勉強の目的にする者が増えている。また、「みんながしているから」「ただなんとなく」といった目的を持たない者も増加している。

## 学習

勉強の目的（中学生全体）単位%



## 勉強の目的

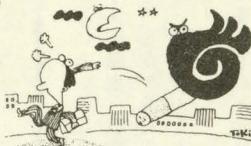
## 高学年に多い「なんとなく…」

## 春の全国火災予防運動

「三月二十九日～三月三十一日」

「一年間で一千八百人におよぶ  
尊い人命と一千三百億円の財貨が  
炎の中で失われた」と昨年秋に発  
表された消防白書は、こう伝えて  
います。

ところで二、三月は空気がカラ  
カラに乾燥して風も強く、いわば  
火災シーズンの「本番」ともいえ  
る危険な季節です。  
二月二十九日から二週間「春の  
全国火災予防運動」が行われます  
が、お宅の火の元は大丈夫でしょ  
うか。



出火原因

最大の「元凶」は何だったのでしょうか。  
失火・出火原因の七十六%まで

その出火原因のナンバーワンは、  
今年もやはりタバコで、九千九百  
二十件、全火災の十四、一割、こ  
れで昭和三十五年以来、十八年間  
連続してタバコは出火原因のトッ  
プの座にあります。愛煙家のみな  
さんにとっては、他人事ではあり  
ませんね。

タバコに次いで二番目に多いの

「放火」は、疑いも含めて五千  
三百六十九件もありました。  
全火災の七、六割を「放火魔」  
が占めるというのですから、ゾッ  
とする話です。同時に、全く関係  
のない他人の家に火をつけた不幸  
のドン底に陥れるという、これは  
ど憎むべき犯罪はほかにないとい  
つてよいでしょう。



燃やすまい みんなが来る山歩く山

山歩きから山を学ぶ

「サクラが咲いたら山火事に注意」——これは山で働く人々の合言葉です。  
桜が咲き始める春先は、  
空気が乾燥し、行楽などで山に来る人たち  
も増え、たばこの投げ捨てやたき火の不始末などによ  
つて山火事が多く発生します。  
昭和四十八年から五十二年までの林野火災統計をみ  
ますと、年間総発生件数の約四割が、三月・四月の春  
先の二か月間に集中してい  
ます。  
一年間で三千三百億円を灰にした  
最大の「元凶」は何だったのでしょうか。  
失火・出火原因の七十六%まで

立派な森林となるには何十年、何百年の歳月が必要ですが、ひとたび「火魔」におそれるとアツといふ間に灰になってしまいます。  
私たちに憩いとやすらぎを与えてくれる山——「サクラが咲いたら山火事に注意」の合言葉を山に働く人々だけでなく、私たち一人ひとりの合言葉にして、林野を山火事から守りましょう。



## スケート教室開かれ

昭和54年分

東栄町体育協会主催の東栄スケート教室は、去る一月十九、二十

所得税の確定申告の期限は3月15日ですが、あなたはもうおすすめですか。

期限間近になると税務署は大変混雑しますので早目に申告をすませましょう。



所得税の確定申告の期限は3月15日ですが、あなたはもうおすすめですか。  
期限間近になると税務署は大変混雑しますので早目に申告をすませましょう。

## 昭和五十四年度「文化祭」の正文発表

### 一般の部入選　私の山造り

東栄町下田 宮 下

基

私は中位な農林業の家庭に生れた。父は教員で家を離れていたので家の仕事は、私より十才位年上の兄が中心で、私等兄弟はそれを手伝つて山の下刈りから植林、自家用木炭作りもやつた。

大正十二年に下田の宮下家に婿養子に入った。其の時には宮下家に山は一枚もなく、家族みんな山をほしいと思い、最初に大正十四年に一枚百円で山を買つた。其の時に月給は六十円だつた。其の買った山にある残り木や雑木を売つて次の山を買う資金を作つた。当時、町内に山の周旋をする私の心安い人が二、三人あって私の家に手頃だと思つような山を次々に世話をしてくれた。それで昭和二十八年まで私の在職中に合計八枚、券面二十一反一畝、退職してから現在までに合計八枚、券面二十五反四畝で、私が最初から目標にしていた券面五町歩（実面十五町歩）にちかい位になつた。

資金の方は、二代木や雑木を売つて、あまり借金もせずにできた。植林の方は、自分で杉や檜の種子を播いて三年がかりで山行苗を生産し、苗を作りながら植林をや

つた。現在までに植林した数は、杉で一万二千本、檜で二万八千本それに松を二千本、合計四万一千本の植林を行つた。退職後の二十六年間は全く山で暮した。長雨が降り続くと杉檜の先がすぐく伸びるのでうれしかつた。

昭和四十年から昭和四十五年迄五ヶ年間、東栄町モデル林家として県の指定をうけ、林業改良指導員、北林貞輔氏が私の山全体の地質、面積、木の種類それに本数等の実体調査をしてくれて、編めて将来の計画をたててくれた。

昭和四十一年三月には造林地下刈手入コンクールで県造林研究会長から表彰された。その後は、北林技術の作つてくれた記録にもとづいて山の世話をしてきたが、山の世話には家内の協力がなくては何もできなかつた。特に在職中は人夫の雇入れから金の支払い一切の世話には家内の協力がなくてはいな事に常雇にちかいような人でヨーロッパで使われていた「ユリウス暦」では年の始めが三月の春分の日でした。ユリウス暦は歴史にでてくるローマの皇帝の事に大へん明るい人が協力をしてくれたので留守中も助つた。

退職してからは、陣頭指揮で家内に弁当を作つてもらつて、天気のよい日は毎日山に立籠つた。

毎日山へ行つていると、仕事が次々にでてきて、明日を待つのが何よりの楽しみになつた。

ところが、今から十五年前、家内が軽度の脳溢血で倒れ、回復に

二、三年かかり、その後、今から十年前に私が膀胱ガンで摘出の大手術をうけ二回入院治療をした。

その後、次第に回復して山の仕事も低い所の技打ち、下刈り位で生きるようになつた。自力ではもう何もできないが、今では町の森林組合で下刈りや除伐をやつてくれるので安心しておれる。私の世話した山もようやく間伐の時期になり一段落した。

山を経営するには記録が大切で何年何月植林とか間伐を何時やつたとかの記録なしでは、十分な経営はできない。細大もらさず記録

以上は私の経験した山に関する六十年間の歩みを記したに過ぎない。若し、山の中で生活し、山を愛する青年の参考に少しでもなればと思い応募した次第です。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり退職後の生活のために手にするのが退職金ですが、サラリーマンにとって感慨深いもの

を取る事が何よりも大切だ。また、山の楽しみは、世話をした山を眺める事が何よりで、炭焼き椎茸、栗栽培と生産を兼ねた面白味もある。

東栄町は全面積の八、九割は山林だと聞いている。その中で山を所有し、山で生活している人は、

山を眺める事が何よりも大切だ。また、山の楽しみは、世話をした山を眺める事が何よりで、炭焼き椎茸、栗栽培と生産を兼ねた面白味もある。

## 退職金と税金

サラリーマンならいつかは「退職」の日がやつてきます。そのとき手にするのが退職金ですが、サラリーマンにとって感慨深いものです。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり退職後の生活のために手にするのが退職金ですが、サラリーマンにとって感慨深いもの

です。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり退職後の生活のために手にするのが退職金ですが、サラリーマンにとって感慨深いもの

です。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり退職後の生活のために手にするのが退職金ですが、サラリーマンにとって感慨深いもの

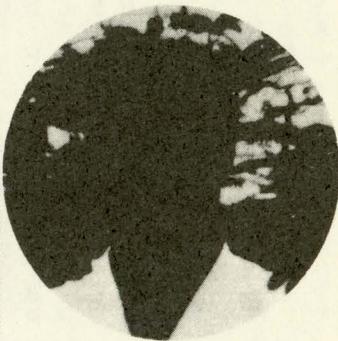
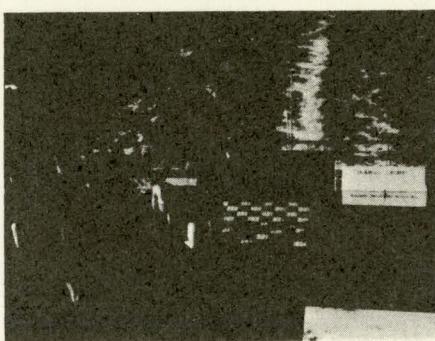
です。

とうえい

## 洋上セミナーに

### 参加して

岐阜青年団 金田正敏



昨年十二月二十七日より一月七日まで愛知、岐阜青年団主催、第八回東海青年洋上セミナーに参加しました。「築こう仲間の輪」をテーマに、約百八十人の青年団員が、名古屋港を後にサイパン島への十一泊十二日間の洋上研修が始まりました。

船内では、集団生活、講座、班活動、集会、日ソ友好パーティなど、起床六時三十分以降、夜八時までスケジュールどおり行われました。十二月三十一日、いよいよ目的地サイパンに到着し、バンザイクリフにて慰霊祭を行なつた後、ロタ島フリー、民泊コースに分かれ、外地でのおおみそかと元旦をすごした。一月二日、地元マリアナ高校生との交流会が開かれ、バレー、ソフトボール、テニスなどのスポーツ交流、またエキジビションとして、日本側より空手、柔道、居合、盆おどり、マリアナ高校生によるカロリンダンスなどが行われ、言語以上の心のふれあいをする事ができました。気温三十八度、二～三回スコールというものにもあつた。

また、原地の人々は日本人と比べて、のんびりとした性格といふのも感じることができた。三日間という現地での日程を終え、郷里へと四日間の帰途。

往復約一週間の船内生活、サンパン、ロタ島での原地生活、いろいろな面で視野を広めることができ、未開地を見ることで日本という国を客観的に見たり、考えたり

することもできた。

また、船内での団体生活、活動講座、あらゆる面で勉強になりました。船酔いで気分が悪く、おまけに食事も口に合わない。「船酔い」というのは、女性だけが経験するツワリの時の気分に似ている」と言う人もいた。私自身、三日間位は、気分が悪く、いつもゲーゲー袋（通称）を持ち歩いていた。

青年団理論から始まり、組織、実践、社会的にみた青年団、これからの方など十二単位の講座の中でも「青年団バカ」の集団の中にいると、自然にその講義に熱中することができた。そして、この研修を通して自分達の青年団を客観的にとらえることができたよう気がする。

過疎化とさけばれる中で我々青年団は、何を考え、何をしていかなければならぬのかという事を考えた。地域という環境に束縛され、将来性といふものに目を向け考える姿勢がなかつたような気がする。そして、もう一度、青年団というものに対する根本からみながしたい。

青年団を通して自分達の生活を高めると共に、よりよい郷里づくりを進めるということを認識し、これらの活動や学習を有意義なものにしていこうではありませんか。

## 四月から国民年金の 保険料が改定されます

四月から国民年金の保険料が、一ヶ月、三千七百七十円に改定されます。

老後の生活の支えとなる国民年金は、その値打ちが下がらないよう、物価の変動に応じて年金額のスライドを行うなど、毎年のようには、給付額の改善が行われています。

昨年も三、四割の給付アップが実施されたが、これらのお金は、みなさまが納付される保険料の積立金と、国庫金などによってまかなわれています。

国民年金制度が、長期間にわたって健全に維持されるためには、年金額のアップなどにともなつて払はれる保険料も改定していくかな

## 国勢調査のはなし

昭和五十五年一ことしの十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行われます。

国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした、国の中でも基本的で大規模な統計調査です。大正九年、「文明國への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、五年ごとに行われ、ことしの調査は十三回目に当たります。

全国で約七十五万人の調査員が四千五百万枚の調査票を全世帯に配布し、ご記入願う――というこの国をあげての大統計調査によつて、人口や世帯数はもちろん、年齢別、配偶者別、産業別、職業別にみた人口構成や世帯構成なども明らかにされます。その結果は県や町村別にまとめられ、行政をはじめ広い分野に活用されます。



## 母と子の検診と相談

### マザークラス 妊婦検診

○日時 3月19日(木)

午後1時～2時半 マザークラス  
午後2時半～4時 妊婦検診

○テーマ 「妊娠の生理と注意」

○場所 産業会館2階保健室

○対象 町内全妊婦

○費用 無料

○持参するもの 母子手帳とテキスト

### 乳母児親検診

○日時 3月27日(木) 午後1時～3時

○場所 産業会館2階保健室

○対象 昭和54年3月、5月、7月、9月、11月、昭和55年1月生れのお子さん。

2ヶ月児と1才児をお持ちの母親

○費用 無料

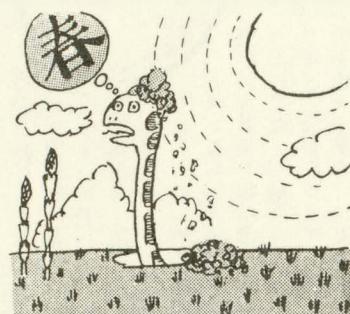
○持参するもの 母子手帳

長い人生には、いろいろなことがあります。子供の誕生、教育、結婚、独立など。なかでも毎年この時期になると、教育費のことが大きな話題になります。

高校や大学に進学するとなれば教育費も更にかかることがあります。また、学校を卒業したあとも独立、結婚と親の責任は一向に軽くなりません。したがって、一つ一つ計画的に準備することが必要となります。簡易保険では、皆様の生活設計のお役に立つようになると普通養老保険、財形貯蓄保険

○お子さまの学資金の準備に！  
○お子さまの独立、結婚資金の準備に！  
○明るい老後のために！  
○万一一の場合の保障に！  
○明るい職場に！  
○家族そろつての保障に！

これができます。  
進学シーズンです。お子さまの学資金の準備にぜひお勧めしたいのが“郵便局の学資保険”です。



## 新城公共職業安定所 新庁舎で3月上旬から業務を開始



かなしみ	よろこび
氏名	出生児
年齢	実加
世帯主	啓敏
住所	由里佳
	正千好
	登人秋文
	中設樂
	中在家

## 戸籍の窓口

へ一月分受付へ

### 今月のスポーツ

#### ○卓球クラブ

4月5日、19日の土曜日  
午後7時30分より  
旧東栄中学校講堂

#### ○ジョギングクラブ

毎週月、水、金の午後  
8時スタート(雨天中止)  
集合場所  
本郷高校正門前

中原	井筒	原田
中泉	茂竹	きぬ
73 83	78 78	村井道弘
鹿闘	昭義	金指節子
雄也	吉次	仁木津美恵
足	下栗代	佐々木憲
込	郷代	原田れい

木枯に乾きし菊の株焼けば菊の香のする白煙り這ふ  
落のとうはや生れたりと告げるる師の声明るく冬の日温し  
暖冬のつづくをなげく人もありスキーコードより赤字と報らす  
澄み通る陽射しは縁に溜りいて今年終りの硝子戸を拭く  
その昔勇将ここに陣をしきて睥睨したるも蓋し然らむ  
(長篠城趾)  
憂きことの去りて心の晴れゆけば霞降る音清かに聞こゆ  
明神の峰を伝いて来る冬の風に舞い舞う粉雪やさし  
夢に見し亡母の静かな声がする舞いては土に雪消ゆる道

へ一月詠草歌 第二一五回  
ふるさと歌壇 互選首